

議会だより



多くの人々に感動を与えた
高度な技術とスピード

・全日本アマ・JOCジュニア
オリンピックカップ自転車競技

主な内容

6月定例会(町長の行政報告).....	2
議案審議.....	3
一般質問.....	6
人事案件、請願・陳情.....	12
議会を傍聴して.....	13
編集後記.....	14



深緑を迎え、花咲く季節となりました(山本公園)

美郷町議会

6月定例会

6月7日～6月10日

一般会計補正予算7、130万円を追加

美郷町国民健康保険税条例など可決

6月定例会は6月7日に招集され、6月10日までの4日間の会期で開催されました。初日には、議長の諸般の報告に続き、町長の行政報告から始まり、請願・陳情、上程された28議案について慎重に審議

し、全議案を原案のとおり可決しました。町長に対する一般質問では、12名の議員が町政について各方面から質問をしました。

美郷町のまちづくりの方向を提示



「ガイド」を作成し、各世帯に配布した。まちづくりの情報を町民と行政が共有し、住民参加を期待している。

まちづくり

合併後初の行政座談会を6月20日から7月15日にかけて、町内15ヶ所で開催する。本年度の主要事業説明のほか、現在策定中の美郷町総合計画(案)の概要説明を行い、町民の意見を伺い、今後の取り組みに反映させる。先般、「美郷町まちづく

企画、生活環境の整備

町民の要望を踏まえ、6月1日から直接各課に電話が通じるようにした。現在使用しているゴミの最終処分場が平成20年をめどに大仙市南外地区に移転を計画している。

産業の振興

平成17年度米の生産調整目標面積は、1、61

1 ha、水稲作付率は、千畑地区70・74%、六郷地区73・79%、仙南地区74・27%で農家に協力を願った。加工米は、235・9 haの申し込みがあった。

秋田わか杉国体

美郷町実行委員会を設立して準備を進めている。

教育の充実

千畑南小学校、千屋小学校、六郷東根小学校、千畑中学校の耐震診断委託業務と仙南東小学校、仙南西小学校の耐震補強工事を5月下旬に発注した。六郷中学の耐震補強

補正予算の内訳

	補正前の額	補正額	補正後の額
一般会計	117億4,300万0千円	7,128万3千円	118億1,428万3千円
特別会計	国民健康保険	5,087万7千円	21億7,366万4千円
	簡易水道事業	1,669万3千円	8億9,586万1千円

工事契約は、本定例会に提案した。

本会議での主な質疑をお知らせします

町民の健康の確保と安全な教育の場をつくる

美郷町国民健康保険税条例の 制定について

制定について

武藤（健）議員 この議案の税率決定の趣旨について。

置を講じている。

税務課長 納税者の税負担の軽減をふまえ、所要額に合わせ、十数種類の試算から決定した。

高橋（猛）議員 全国的に介護給付が増え赤字組合が増加し、県内でも25団体、5組合が赤字決算との報告がある。当組合も基金の取り崩しで対応するようだが状況はどうか。

斉藤（新）議員 国保運営協議委員も協議に参加したのか。税の軽減措置の対策はどうか。

福祉保健課長 5%の調整交付金があるが、これを超えた額で決定し、黒字見込みと聞いている。

住民生活課長 国保運営協議会を開催し、委員の出席の元当局案を諮問し答申を受けている。

高橋（猛）議員 介護保険の負担を低くしたようだが、算定に至った考え方について。

税務課長 低所得者に対し、7割、5割、2割の軽減措

泉（美）議員 健康保険税の応益割が旧千畑で上がることになり、低所得者の負担が大きくなる。合併で負担は低くと言っており、一番低いところに合わせた場合の不足額はいくらか。

泉（美）議員 今回、基金

戸澤（勉）議員 基金を大幅に崩して低い方に合わせた英断と思いやりを評価したい。旧町村毎の基金残高はいくらか。旧町村間の大きな差も判断の材料に必要なではないか。

住民課長 納付金の負担は上昇しているが、旧三町村の平均により算出した。

から1億1千万円を取り崩しているが、もっと低くできたのではないか。

千万円、仙南地区8、500万円である。

高橋（福）議員 最高限度額はどれ位か。

税務課長 基金残高は2億2千万円であり、今回約半分を取り崩している。更に1億3千万円を崩すととなると基金の範囲内ではできなくなる。

熊谷（良）議員 どの地区も平均して下がっているが千畑方式だと1億3千万円の不足というが、予算では1億4、400万円のマイナスである。実際には平均より下げているのではないか。

税務課長 医療分については53万円であり、介護分では8万円である。

泉（美）議員 健康保険税の応益割が旧千畑で上がることになり、低所得者の負担が大きくなる。合併で負担は低くと言っており、一番低いところに合わせた場合の不足額はいくらか。

税務課長 旧千畑ベースの試算では1億3、700万円の減になる。

泉（美）議員 今回、基金

住民生活課長 16年度の基金残高の見込み額は2億2千万円であり、千畑地区1億683万円、六郷地区3

全会一致で可決

工事請負契約の

締結について

村田議員 耐震補強工事の
場合は、資格を持った技術
員を現場に配置しなければ
ならないが、業者選定で考

慮されたか。また、工事の
妥当性を評価する機関の設
置の考えはないのか。
助役 今般の耐震補強工事
は、1級建築士及び1級建
築施工管理技師がいること

を必要条件とした。工事の
妥当性については、工事を
執行する部局と検査をする
部局が違うことが理想だ。

しかし、美郷町のよつな小
さい自治体は、職員数に制
限があり、兼務せざるを得
ない。結果をしつかり検証
する職員の資質向上に努め
たい。

斉藤（正）議員 関連して

2点。落札率はいくらか。
また、工事の調査基準価格
とはどういふものなのか。

総務課長 落札率は、資料
が必要とあれば提示したい。

助役 調査基準価格とは、
美郷町の場合、最低制限価
格に変わるものとして設定
している。

吉野議員 六郷中学校の体

育館の解体、新築計画はど
うなっているのか。教育債
は適用にならないのか。

学務課長 現在、詳細につ

いて調査検討中である。解
体については、教育債等の
適用はない。

斉藤（正）議員 町発注工
事の多くの落札率が97%程
である。きちっとした競争
原理が働いているのか。

町長 入札事務を適正に行
っており、適正な競争の結
果だと認識している。

熊谷（良）議員 以前は、
予定価格を伏せていたが、
今回は事前公表としてい
る。予定価格が安過ぎない
か。

町長 個別に事情が違い、
予定価格の設定が高過ぎる
とか安過ぎるといふことは
ない。

全会一致で可決

耐震補強工事の実施を待つ六郷中学校



平成17年度美郷町

一般会計補正予算

谷屋議員 出逢いの場創出

事業は、登録制ということ
で、特に女性の登録者を確
保することが重要と思う
が、その対策は考えている
のか。対象年齢はどうか。
出逢った後のフォローにつ
いてはどう考えているの
か。

町長公室長 広報、チラシ、

ホームページなどでPRし
たい。対象については20歳
以上、男女の区別はしない。
出逢いの場を創出すると言
うことで、今回はアフター
ケアについては考えていない。

熊谷(隆)議員 学術的価

値の高い千屋断層の崩落が
進んでいるが、維持管理に
ついての考えを伺う。また、
旧千畑町の振興計画の中に
あった国の補助事業で展示

施設の建設が計画されてい
たが、その進捗状況は。

社会教育課長 千屋断層

は、地下水や雪によって崩
壊が進んでいる。今回の補
正で壁面に土のうを積んで
保護することにした。

町長 展示施設については

文部科学省の補助事業対象
になるものか検討中であ
る。千屋断層の展示施設を
どう位置づけるかは、現段
階では計画のみの状況だ。

高橋(福)議員 フロンテ

ィア農業者育成事業の補助
金で、2年間の研修を終え
た後、農業以外の仕事に就

く者がおり、現況を聞かせ
てもらいたい。

農政課長 研修者には、農
政課と県の普及指導課で2
年間の研修を終えた後、農
業に従事する確約をとって
いる。美郷町管内では過去
5名いたが、農業をしてい
る。今後この様に指導する。

村田議員 地域コミュニテ

ィ推進事業では集会所への
整備助成をしている。千畑、
仙南地区の集会所は新しい
建物が多いが、六郷地区で
は築35年を経過しており、
限界状態だ。18年以降も制
度は継続するのか、また助
成上限250万円の増額は
できないのか。

町長公室長 コミュニティ

補助事業は17年度で一応閉
めることにしている。新た
なる実施については改めて
検討する。

竹村議員 奨学資金の貸付

枠を拡大し、申込者全員に

貸し付けているが、今後も
制限しないで貸し付けるのか。

学務課長 あくまで予算の
範囲内で考えている。将来、
有望な町民を育成する目的
で事業を継続していく考えた。

全会一致で可決

平成17年度美郷町国民
健康保険特別会計補正
予算

全会一致で可決

平成17年度美郷町簡易
水道事業特別会計補正
予算

全会一致で可決

平成17年度美郷町下水
道事業特別会計補正予
算

全会一致で可決

人権擁護委員の推薦に
つき意見を求めること
について

全会一致で同意

崩落の進む千屋断層



一般質問

12人の議員が町長に問う



村田 薫議員

現在当町の下水道処理は、公共下水、農業集落排水、合併浄化槽の3方式で行われている。住民が疑問を感じている3点について伺う。

質問

同じ町内に居住し納税しているながら、受益者負担料



戸沢 藤一議員

町の円滑なる行政運営を図る上で行政協力員の職務は重要である。今後は、会議を増やして地域住民の声を吸い上げることが必要で

質問

質問 下水道処理の問題点

段階的に調整を図る

と使用料に違いがあり町民が疑問を持っている。負担の均等化の考えは。

答弁 町長

まず公共下水は旧六郷町の6,000人が対象となっている。農業集落排水は旧千畑町、旧仙南村の5,000人を対象に整備しており、合併浄化槽は、町内に1,270基設置されて

いる。指摘のとおり公共下水道と農業集落排水施設は負担金及び使用料に地域差があり、これは公平性の観点から段階的に調整を図る。

質問

環境面から合併浄化槽の消毒薬が混合した排水が野菜畑や稲作田に流入しても問題は無いのか。また、六郷の七滝地区では、上流で

質問 行政区と協力員の今後について

把握した上で検討

あり、災害時の行政協力員の対応も考えるべきである。行財政改革の観点から一番の課題は行政区の再編ではないか。

答弁 町長

各地域の事情や現状、課題等を正確に把握した上で、地域コミュニティとし

ての行政区の位置づけ、防災上の行政区のありよう等を検討し、17年度内に行政区のあり方を明確にした。その後で行政協力員の役割の統一を検討したい。

質問

将来、町の農業や農地を地域に合った経営体にして

用水路に排出された浄化槽の水を下流で家庭に引き込み生活用水に使用している家もある。この地域の上下水道の早期整備を望む声が多く早期完成の考えを伺う。

答弁 町長

合併浄化槽の最終排水は、水道水と同等の基準の塩素濃度で農作物に影響はない。七滝地区の一部で飲料水等で困っている世帯の対応は調査検討する。

質問

守っていくため、町が指導助言をし、組織の立ち上げから経営全般の指導ができる専門職員を置く考えは。また、現在町の法人と集落営農の数は。

答弁 町長

組織育成には専門知識が必要だが、職員が具備するには数年かかる。さまざまな形で経験を積み重ね、組織づくりに精通した職員に

浄化槽の既設区域に公共下水道が設置された場合、速やかに接続することとなっているが、接続への助成や接続しないためのペナルティ的指導の考えは。

答弁 町長

接続資金の調達が困難な場合は、町の水洗便所改造資金融資幹旋要項で便宜を図る。ペナルティについては、町の条例規定等を説明しながら指導に努めていきたい。

育てたい。農業法人は4組織で、営農組織は60組織である。

質問

空き家と遊休地を利用し、ふるさと回帰支援事業などを行っては。

答弁 町長

町内における空き家は192件。供給はあるが需要がない現状。今後需要の把握をしていく。



吉野 久議員

質問

法律改正により、今年度中に対応しなければならぬ「指定管理者制度」について伺う。

この制度をどう認識

し、まちづくりにどう活用するか。また、対象施設で



斉藤 正衛議員

質問

まちは観光を主要施策の一つとしている。ハード面は整いつつあるが、観光産業の歴史のない商店や地域の意識を変えるに至っていない。観光客を積極的に町に呼び込む施策がとられ、

質問 どう対応するか指定管理者制度

制度にのせるべきか検討

答弁

直営に戻すべきものや、直営施設で管理委託すべき施設を想定しているか。

公の施設管理を民間会

社が受託した場合、公平・平等なサービス提供や、その質・水準の低下と対価の問題、雇用の身分や労働条件の問題が指摘され、監査請求・報告義務など、住

答弁

町長

質問 観光と行政の係わり方について

町のにぎわいを創出

答弁

観光客は確かに多くなった。そして多くの予算も使われた。町民が得るものは何か、事業としての採算性や実効性が問われている。

また、新町計画では観光を

産業へ発展させるとあるが、県内観光地のほとんどが厳しい状況の中で、町長は観光にどのような将来ビ

答弁

町長

地域活性化の足がかりとして観光推進をこれまで各地域において行ってきており、その結果、来場者や参加者が増加し、事業の実効

を利用しつつ、住民サービスの向上と経費節減等を図ることと認識し、具体施設については現在の課題を精査し検討する。

現段階では、施設ごと

の現状との相違点を制度にのせるべきか検討する。監査請求及び報告については、地方自治法の制度を活用していくことが肝要と思う。個人情報保護については、条例や指定管理者と

締結する協定の中で規定し、万全を期す。

指定管理者の自主事業

計画や相当の実績等があれば、複数年以上の指定議決が適当で、その後指定管理者の義務に関する事項等を定めた基本協定を締結するのが適切と現段階では考えている。選定基準は、団体として業務実績、公の施設運営の計画性の双方を検討し選定する。

は上がっている。また、採算性が地域にとってすべてではないが、観光拠点施設等を中心にイベント等とも関連を持たせ、観光が収入と結びつくよう関係団体と協議していく。将来ビジョンについては、ネットワーク構築や魅力掘り起こしなどにに対し、関係団体等と連携をとってビジネスチャンスを拡充するとともに、企業活動の活発化等によって

若年層の定住化を図り、総合的に町のにぎわいを創出してまいりたい。観光が一つの美郷町のスタイルの中に定着することを期して頑張りたい。



杉澤 隆一議員

質問

本堂城回地区で県の18年度採択に向け計画中の経営体育成基盤整備事業について、町の助成が今までどおり可能なか伺う。

答弁 町長

本堂城回地区は平成15年

質問 基盤整備事業に対する町の助成は

従前の補助を継続

答弁

中に仮同意90%を得て、平成16年度に地形図作成等に着手してきた経緯があり、

てまいりたいと考えている。

現在も採択申請に向けて各般の事業を進めている段階と伺っている。

なお、今後新たに計画されていく地区があるとするば、その時点でさまざまな環境等を踏まえ補助について再議論、再検討していくことになるかと考える。

質問

千畑温泉保養所で高齢者

の無料送迎バスが4月から廃止となり、車を運転出来ない人達から不満の声が出ており、運行復活を望むものであるが、町長の考えを伺う。

答弁 町長

町内には温泉施設が3ヶ所あり、それぞれの温泉担当で話し合い、無料送迎バスについては今回実施しない旨の報告を受けており、



飛澤龍右工門議員

質問

町内で水不足または水質の悪い地区について把握しているか。その地区に対する対策はどう考えているか。当初予算で羽貫谷地区に水道調査費として、500万円が計上されている

質問 上水道の整備を

調査し検討していく

答弁

が、隣りの下畑屋地区でも、

対策を望む。

水質が悪く、水道整備の要望があるので、羽貫谷地区の水道から併用できないか。今後のスケジュール、事業計画、着工の時期等、調査の内容について伺う。

現在事業実施中の六郷東部地区の他に町内では11の簡易水道がある。その地域内の水道普及率は84・2%であり、町の全人口から見ると52・4%で、普及率は低いと認識している。

水のない所、悪い所に人は集まらないと言われているので、公平性の観点からも

現在水道に困っている地

域としては、鉄分、マンガン等水質に問題のある羽貫谷地区、長面地区、住民から要望のある下畑屋地区である。

未普及地区や水道供用開始地区の未加入者については、状況確認や各種調査をし、既存の簡易水道に加入できるのかを含め対策を検討したい。

尚、羽貫谷地区については、今年度水源調査を

さまざまな状況から運行は実施困難と考える。今後、町の老人保健福祉計画を見直す段階で福祉施策のあり方として、こうしたサービスをどう位置づけるか十分に検討してまいりたい。



羽貫谷地区の配水施設

施し、国補助事業採択になるよう県とも協議し事業を進めていく。



熊谷 良夫議員

質問

老人クラブなどの各種団体は行政の指導もあり、合併して旧三町村間の交流も活発になっている。会合も今回は、千畑地区、次回は仙南地区と持ち回りで開催している。車の運転の出来



武藤 健議員

質問

不況下で町の商工業者の皆さんの暮らしも大変である。町及び関係係部局で使用する物品の町の業者の納入比率を高め公平に配分していただきたい。

次に資格証明書の交付に

質問 お年寄りと子供たちにもつとやさしく

シャトル便の有効活用を

答弁

ない方々のために「シャトル便」の運行を、役場庁舎を集合場所として、公民館や福祉センターに拡大できないか。また「乗合タクシー」運行結果は。

さな子供達が遊び場として活用しているところがたくさんある。これらも町で把握して、遊具等の整備をしていくべきではないか。

答弁 町長

町で管理している公園や遊園地のほかに、地域の神社や空き地や宅地造成した中にあるミニ公園など、小

分庁方式に伴う住民サービスの低下を回避、軽減するため各庁舎に総合サービス課を設置しているが、町

質問 資格証明書の交付は慎重に

まずは納付相談を

答弁

ついて伺う。国保の課税所得金額は下がり続けて、高い国保税はますます払えないものになって住民の皆さんの家計を圧迫している。資格証明書の交付は、国民皆保険と言いながら滞納世帯から保険証を取り上げる過酷なペナルティである。国保新年度美郷町からは1

答弁 町長

町業者からの物品購入比

民が他の庁舎で用件を済ます場合、会議等に出席する住民、職員の輸送、各庁舎間の文書及び決裁書類の送致のため、午前午後各2回シャトル便を運行しているが、趣旨、目的からしてコース等の変更は考えていない。

農村公園31ヶ所、児童遊園地が24ヶ所ある。公営住宅を含め町が直接あるいは委託で管理している。その他の要望については調査把握し、必要が認められた時は検討していく。

乗合タクシーについては先の定例会で答弁している。現在町には、公園17ヶ所

率だが、地方自治法や財務規則で定められた取り扱いを遵守しながらできる範囲で機会に配慮している。入札執行に当たっては競争の原則を大切にして公平な執行をしておるところだ。

担保だと考える。様々なケースで様々な事情を抱えておられると思うが、交付に到らないようにしていきたい。行政としては減免制度の周知も十二分に致すが、まずは納付相談に来ていただくことが第一歩になる。

資格証明書の交付については、被保険者間の負担の公平性を確保して健全な国民健康保険財政の運営に資するため定めており確立した制度である。公平に執行することが全体に対する



高橋 正治議員

質問

動植物から生まれた再生可能な資源であるバイオマスを利用したバイオマス事業は、地域の活性化、最高の産業創出になるものと考え質問する。

バイオマスは、町内にある家畜の排せつ物や生ご



谷屋 誠市議員

質問

町長は、「今後10年の基礎づくりをしたい。」と訴えていたが、町長が考える10年後の美郷町はどのような姿をしていて、その為にはどのような舵取りをしていくのか。

農政が揺れ動く中、農家、集落の姿は。

質問 バイオマスで活性化を

十分な調査分析が必要

答弁

ミ、もみ殻や稲わら、木くずや間伐材など、多種多様な原料を使用して、電気やガスを生み出すほか、プラスチックの原料や農作物を育てるための肥料などが無

限に生産可能である。こうしたバイオマス事業は、ベンチャー企業の創出

子供たちの教育効果、有機農業による農業の活性化、

あるいは減反や遊休地の有効活用にもつながると考えるが、町長の見解を伺う。

答弁 町長

バイオマスは循環型社会形成の上で大変有用な方法であると認識しているが、バイオマスタウンを目指すにはバイオマスを持続的に活用するために生産、収集、変換、利用の各プロセス

質問 10年後へ向けた基礎づくりは

住んでよかったまちを目指す

答弁

少子高齢化が進んでいるが、町の福祉教育環境は。若年層などの就職先の確保はどうか。

どのような特色を持つ町にしたいのか。

再合併の心配をする声もあるが、美郷町であり続けるためにはどうするのか。

答弁 町長

10年後の美郷町の姿について

すが有機的につながり、全体として経済性、地域条件に合った循環システムの構築が求められる。

本町の場合、土づくり、畜産環境保全などを目的とした食品廃棄物や家畜排せ

つ物等の廃棄物系、稲わらやもみ殻等の未利用バイオマスなどが考えられるが、これらの保存量や変換後の

利用方法、地域的な範囲、関係者の役割分担等を明確にする必要があり、構想着手以前に膨大な調査分析が

少子高齢化が進み、学校統合や高齢者同士の相互扶助等、互いに支え合う地域社会になる。

職場環境については施策展開により、起業等いくらか就業構造に変化が出る。

保育料の半額支援などの施策の積み重ねにより、美郷としてのカラーが出てくると信じる。

再合併ということがないようにと、美郷町総合計画を作成する。

質問

求められる。さらに維持管理経費を含めた採算性を考慮した場合、当然、大きなリスクが生じるために結論を急ぐべきものではないと考える。

バイオマスと同様の新エネルギー対策については風力及びソーラー発電による道路照明灯整備に着手しており、有機農法についても別途の取り組みを行っている。

電波が弱く、携帯電話が使えない地域はどこか。それらの解消のためにどんな努力をしているのか。

答弁 町長

携帯電話の利用の難しい地域は沢目地区と大坂地区だ。国の補助事業があるが、区内世帯数が少なく、採択は厳しい状況だ。今後も改善の要望をしていく。



泉 美和子議員

質問

児童保育の利用料が月3、000円に統一されたが、旧六郷町の利用者にとっては1、500円から一気に2倍になったもので、疑問の声が出ている。格差が大きいものの統一は充分な説明と理解を求めることがとりわけ重要であり、説

質問 児童保育の負担軽減を

内容の充実を図る

答弁

明不足の感が否めない。合併前に「サービスは高く、負担は低く」と言ってきたことにも逆行するものであり、段階的な統一など住民負担軽減の方向を示すべきだったのではないかと。また、低学年だけでなく、せめて4年生まで預かって欲しいとの要望もあるが、今後の対応はどうか。

までの利用に対し、1回50円の保護者負担が導入されたが廃止すべきだ。大仙市のように病後児保育を実施するべきではないか。

答弁 町長

放課後児童健全育成事業だが、利用料の説明については、事業実施前に説明会または内容を記載した資料を配布し、理解をいただきたいところだ。保育料の統一

また、経歴管理の確立やプロジェクトチームの庁内公募制の導入などで人事管理と人材育成を一体的に図っていくほか、職場内外での研修を計画的に実施すること、より職員の意思疎通、融和を図るとともに、職員提案をもち、意欲と自発性を喚起する取り組みを実施する。



深沢 義一議員

質問

町づくりは人づくりであり、融和なくして人づくりもなく、意識改革なくして前進もないと思うところがある。その町づくりの基礎

質問 職員の資質向上に向けた取り組みについて

意欲と自発性を喚起する

答弁

となる職員の資質向上に向けた職場内の融和と前進に対する取り組みについて、また、自主研修の推進についての町長の考えを伺う。

答弁 町長

毎日各課において朝礼を

実施し、情報の共有化を図り、意思疎通や融和を図るべく取り組んでおり、本年度中には人材育成や、能力開発を行う指針として、美郷町人材育成基本方針を策定する考えである。

自主研修制度について



子供たちを育てる環境の充実を

づけも考えた上で充分検討するが、現段階では実施は考えていない。

は、おおむね200万円の予算を持ち、職員の自発的な研修により、職務に関連した事柄について自己研さんに励んでいただく制度であり、職員の積極的な事業利用を期待している。

請願・陳情

6月

以下の4件を採択し意見書を提出しました。

定率減税の縮小・廃止の中止を求める意見書採択に関する請願
連合秋田大曲地域協議会

議長 早川 隆史

住民の生活と地方経済を悪化させる公務員賃金の「地域給」反対を求める陳情書

秋田県労働組合総連合

議長 日野 充

秋田県公務員公共業務

共闘会議

議長 佐藤 憲雄

人権擁護委員に同意

人事案件

次の方々を選任することに同意しました。



長谷川大三
(千畑)



高橋 繁子
(千畑)

を求める陳情書

日本自治体労働組合連合

秋田県本部

中央執行委員長

伊勢 孝志

採択しました。

国土調査事業の県内業者育成に関する陳情書

日本国土調査測量協会

秋田県協議会

会長 村上 良治

以下2件を趣旨採択しました。

「市場化テスト」や「給与構想見直し」に反対する意見書の採択を求める陳情書

日本国家公務員労働組合連合会

中央執行委員長

堀口 士郎

公共サービスの低下をもたらす「市場化テスト」(官民競争入札)の反対を求める陳情書

秋田県労働組合総連合

議長 日野 充

秋田県公務員公共業務

共闘会議

議長 佐藤 憲雄

「骨太方針 2005」において住民本位の地方財政確立に向けた意見書採択

中央執行委員長

伊勢 孝志

秋田県労働組合総連合

議長 日野 充

秋田県公務員公共業務

共闘会議

常任委員会報告

総務常任委員会

納税状況

町税の徴収率は、90%台で概ね良好だが、自主財源の根幹でもあり、今後共徴収率アップに努力してもらいたい。

国保税は、87・98%で町税の徴収率より若干下回つてしまう。今後とも、町税の滞納者分も含めて、納税相談の努力に期待し、納税義務の啓蒙や口座振替のPRに努力してもらいたい。

町有財産

未利用地は、現況を勘案して処分可能なものは売却し、町で利用可能なものは有効な利用方法を検討して、遊休町有地の解消に努力してもらいたい。

道路敷地の残地は、管理が行き届かず荒れたところも目立つ。管理の徹底と売却や地域・住民への貸し出しなどを検討してもらいたい。

温泉施設の運営

温泉施設は、旧3町村での成り立ちや経営形態が違う現状だ。経営組織の統一は、将来を展望し町民のためにあるべき姿を検討してもらいたい。また、3施設のサービスの質や内容に差異があつてはならない。どの施設も充実したサービス提供ができるよう、支那人・従業員間の交流や研修を望む。

温泉への補助金は、町がやるべき業務を代行しているところもある。将来的に業務の棲み分けも必要だが、町として必要な出費と考える。

指定管理者制度への移行は、第三セクターといえども営利目的の分野だけではないはずだ。町民の福利厚生目的もあり、町民の立場に立った検討をしてもらいたい。



議会を傍聴して

6月定例会では、延べ72人の傍聴者がみえられました。傍聴者の声を掲載いたします。

感想

各議員の一般質問を拝聴し、前向きに美郷町の将来に取り組もうとする意気込みを感じました。

各々の議員が町民を代表して町当局に質問する姿は真摯に感じる所がありました。

町民ももっともつと議会傍聴して町政から目をそらさないことが大事だと思います。

会議室を議場として利用するなど、町並びに議会でも新町育成のために努力していることがわかりました。

質問の内容も町民の生活に関するものが多く、新しい

町育成に努力されていることがわかりました。

議員みなさんの姿勢のよさにびっくりしました。国会議員以上です。

3人の議員の質問、町長の答弁と言葉遣いの良さにびっくりしましたが、あまりしつかりして、何か冷たさを感じました。町長の答弁はわかりやすくはつきりして、とても好印象でした。

議員の人数の多さが気になります。今後の町づくりががんばってほしいと思いました。

美郷町の住民の声が議員に届いていることが感じられます。具体的な内容を把握できました事に感謝します。

意見

できるだけ他の担当者にも大いに答弁してもらっていい意味での雄弁者に



満席状態の傍聴席

なってもらいたい。

議場が階段式になつていれば良いと思いました。

国が率先してはじめたクールビズですから、町議会ももっと軽快な服装でも良いのでは？

ガラス張りの町政の運営を望み、利益のある町政のみでないことを望みます。

組織の改革、町民の声を反映させる町政の展開を望みます。

質問する事項についての現在の法や規則の説明はお互いに理解しているはず、質問者が説明する必要なのでは。

単刀直入にもっと具体的に質問し、町長の考え方を引き出し、解決させる回答を求めべき。あまりにも形式的だ。

議員の調査権をもっと活用して町民の暮らし、困っている事を改善させる努力をすべき。

**貴重なご意見など
ありがとうございます
ございました**

9月30日の在任期間まで千畑庁舎3階会議室にて議会が行なわれます。

改選以降は、千畑庁舎2階の議場となりますが、議場中継を行ないますので、各庁舎町民ホールのテレビでご覧いただけます。町民のみなさんの傍聴をお待ちしております。

秋田県 美郷町 千畑ラベンダー園開園中



開催期間 7月10日(日)まで
開園時間 午前9時～午後5時

議会の動き

4月 6日 総務常任委員会

5月 9日 総務常任委員会
10日 総務常任委員会
11日 議会運営委員会

6月 6日 議会全員協議会
議会運営委員会
総務常任委員会
7日 平成17年第4回定例会
(～6月10日)
議会全員協議会
総務常任委員会
8日 議会広報特別委員会
9日 議会広報特別委員会
28日 議会広報特別委員会

7月 4日 議会広報特別委員会

美郷の里



美郷町議会だより第4号をお届けします。今回は、6月定例会の内容についてお知らせします。町政に対する一般質問、報告、承認議案等を掲載しました。

暑さの厳しい季節になりました。十分な体調管理をして乗り切りたいものです。町議会としては、町民の皆様との一体感を大切に、さらなる町民福祉の向上と住みよい愛着のある町づくり、議決機関としての機能を発揮してまいります。

なお、第3号でもお知らせしましたが、議会だよりを目の不自由な方々に、ふき込みポランテアの協力によりテープ版を発行しております。希望される方は議会事務局までご連絡ください。

美郷町議会だよりの編集にあたりましては、わかりやすい議会情報を提供できるよう努力してまいります。今後ともご愛読の程よろしくお願い申し上げます。